

平成15年1月17日  
生産局畜産部

「牛肉在庫緊急保管対策事業」における保管対象牛肉の検品の状況について  
(第11報)

保管対象牛肉の検品状況は、次のとおりです。

1 進捗状況

平成14年12月26日現在、161カ所の営業倉庫において、保管対象牛肉11,528ロットについて検品を実施中である。

期 間	検品実施倉庫数	検品実施ロット数
平成14年 2月8日～ 12月26日	161 倉庫	11,528 ロット

2 検品結果

これまでの検品の結果により、保管対策事業の対象として適正と判定された牛肉は、7,993t、補助対象から除外する牛肉は42tとなった。

期 間	適正重量・箱数	補助対象除外重量・箱数
平成14年 2月8日～ 12月26日	7,993 t 569,690箱	42 t 6,078箱

(参考1)

対象倉庫数 259倉庫 (45都道府県)  
対象ロット数 22,306ロット (915,952箱)

問合せ先  
農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課  
食肉調整官 伊藤 剛嗣  
TEL 03-3502-8111  
TEL 03-3501-3776(直通)  
担当：春名、戸高 (内線 3968、3965)

(別 添) 検品実施の結果、補助対象除外となった重量及び箱の内訳

期 間	全国農業 協同組合 連 合 会	全 国 酪 農 業 協 同 組 合 会	全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 会	全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 会	日 本 ハ ム ・ ソ ー セ ー ジ 工 業 協 同 組 合	全 国 食 肉 事 業 協 同 組 合 会
平成14年 2月8日 ～ 12月26日	712箱 9.4 t	—	507箱 5.9 t	1箱 0.01 t	3,350箱 19.6 t	1,508箱 7.0 t
平成14年 11月19日 ～ 12月26日	56箱 0.4 t	—	1箱 0.02 t	1箱 0.01 t	1,948箱 11.9 t	855箱 1.2 t
除 外 理 由	③	—	②	④	①、②、⑥	③、⑤
今 回 補 助 対 象 除 外 と な っ た 主 な 理 由	<p>① 品質保持期限切れ (計: 46箱、496.4kg) ・ハムソー組合 1社 46箱、496.4kg (品質保持期限の扱いについて承知していなかったため)</p> <p>② 現品紛失 (計2箱、36.7kg) ・全開連 1社 1箱、20.3kg (倉庫の管理ミスによる紛失) ・ハムソー組合 1社 1箱、16.4kg (倉庫の管理ミスによる紛失)</p> <p>③ 誤計算 (申請重量オーバー) (注1) (計: 861箱、1,048.56kg) ・全農 1社 56箱、367.6kg (重量の転記ミスのため) ・全肉連 1社 794箱、658.51kg (重量の転記ミスによる) ・ // 1社 11箱、22.45kg (現物がない重量を計算したため)</p> <p>④ 外表示と内容物重量が相違 (注2) (計: 1箱、10.8kg) ・全畜連 1社 1箱、10.8kg (内容物が1ピース欠による)</p> <p>⑤ 加工日等不明 (計: 50箱、500.0kg) ・全肉連 1社 50箱、500.0kg (時間の制約があり、十分な点検が行われなかったため)</p> <p>⑥ 対象外品目 (加工品: 塩、コショウ等の添加) (計1,901箱、11,406.0kg) ・ハムソー組合 1社 1,901箱、11,406.0kg (加工品の扱いについて承知していなかったため)</p> <p>(注1) 内容物は補助対象として適格であり、申請重量と実重量の差について補助対象から除外</p> <p>(注2) 内容物は補助対象として適格であり、外表示重量と内容物重量の差について補助対象から除外</p>					

<p>今 回 の 補助対象除外 発生 の 主 な 原 因 等</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 短期間で事業を推進する必要があったため、事業の趣旨・対象要件等についての周知徹底や末端の事業参加者（業者）の理解が不十分であったこと</li><li>・ 短期間で事業を推進する必要があったため、事業実施主体の買い入れ時における現物確認等個別内容の確認が困難であったこと</li><li>・ ③の全肉連1社（794箱、658.51kg）、⑤及び⑥については、自主点検による報告が行われている</li></ul> <p>※検品実施者は内容物の詰め替え、ラベルの貼り替え、書類の改ざん等の意図的な作為は認められなかったとしている（<u>最終的には判定委員会</u>で判断する予定）。</p>
--	--